

入選

この席どうぞ

和歌山県 智辯学園和歌山小学校 四年
齋藤 悠菜

私は、登校するために、電車に乗りました。電車が動き出したとき、たくさんの人でパンパンになっていました。その中に、重そうなリュックサックを背負った人がいました。その人は、私と友達の前に、重そうにして立っていました。

私が乗ったときは、すごく席が空いていて、ほぼかしきり状態だったので、座ることができました。けれど、電車が発車するまでの5分くらいで、たくさんの人が電車に乗ってきました。そのため、

(席がパンパンでギュウギュウになって、座ることのできない人がでてしまったんだな。)

と思いましたが、友達としゃべっていたので、重たい荷物を持っている人に気づきませんでした。

だけど、前を見てみると、重い荷物を背負った女の人がいるのに気づきました。私は、よこにいた友達に、「あの前にいる女の人、荷物重そうだから、席ゆずってあげる？」と、声をかけました。

すると、友達は、

「うーん。『大丈夫です』っていわれたらどうしよう。はずかしいな。席をゆずるのやめとこうよ。」

と、言いました。たしかに、私は、知らない人に自分から話しかけたことがなかったので、「大丈夫です」と言われたときのことを、たくさん考えてしまい、はずかしい気持ちになりました。

けれど私は、相手の女の人や他の人がきちんと座れるようにしたい、と思ったので、思い切って声をかけようと思いました。そして、きんちょうとはずかしさがありつつも、私は立ち上がって、女の人に声をかけました。すると、

「大丈夫です。ありがとう。」

と、言われました。

私は、ことわられてしまったので、少しがっかりしました。けれど、「ありがとう。」と言われたので、うれしくなりました。その様子を見ていた友達がにこっとわらって、

「あっちで立っとかない？他の人が、座るかもしれないから。」

と言ったので、ドア近くの方に移動しました。私達が座っていた席を見てみると、3、4人の人が座っていました。私は、それを見て、にこっとえがおになりながら、

「席をゆずったら、こんなに気持ちいいんだな。」

と、心の中で思いました。

私は、ちょっとした親切で、他の人がよろこぶことができるということがわかりました。

これからは、気がついたことや、大変そうにしている人を見つけたら、席をゆずるなど、ちょっとしたしや気づかいをしよう、と改めて思いました。